

1. レポートの種類と出力内容

ビリングレポート／大代表構成内訳書にはレポート構造や出力内容等の違いから以下の2種類のレポートがあります。

※なお、どちらのレポートも媒体フォーマットは共通です。

種類 \ 項目	レポート構造	出力内容等
請求単位のレポート	<p>【レポート作成単位】 請求単位</p> <p>※複数請求書のグルーピングが可能です。複数請求書でグルーピングした場合、作成される媒体はグルーピングした単位で一つとなります。またその場合、全ての請求書は同一料金群（請求タイミング）である必要があります。</p>	<p>【請求単位の金額の出力】 請求単位の金額（預り金、延滞利息等）は最若番の組織の組織別集計レコードに出力します。</p> <p>【組織／部課コードの指定】 組織コード、部課コードの指定は任意です。 ※組織コード、部課コードは番号別明細内訳書、ホスト課金内訳書と共通で使します。</p> <p>【組織／部課の集計レコードの出力】 組織コード、部課コードを指定しない場合でも、内訳レコード・組織単位、内訳レコード・部課別単位の2レコードは必ず出力されます。（この場合、組織コード、部課コードのコード値にはスペースが出力されます。）</p> <p>【回線単位内訳の出力有無】 回線単位の内訳レコードの出力有無が選択可能です。</p>
任意の回線グループのレポート	<p>【レポート作成単位】 任意の回線グループ</p> <p>※グルーピングする回線は同一料金群の範囲である必要はありません。 例えば、異なる請求タイミング（A群とC群）の回線をグルーピング可能です。この場合、別途レポートの作成群をご指定頂くこととなりますが、作成される媒体はグルーピングした単位で一つとなります。</p>	<p>【請求単位の金額の出力】 請求単位の金額（預り金、延滞利息等）は出力されません。 ※請求金額と不一致となるケースが発生します。</p> <p>【組織／部課コードの指定】 組織コード、部課コードの指定は必須です。（例えば部課が存在しないような場合でも、ダミーの部課コードの指定が必要となります。） ※組織コード、部課コードは番号別明細内訳書、ホスト課金内訳書、上記ビリングID単位のレポートとは別にご指定頂けます。</p> <p>【組織／部課の集計レコードの出力】 組織コード、部課コードをダミーで指定された場合でも、内訳レコード・組織単位、内訳レコード・部課別単位の2レコードは必ず出力されます。（この場合、組織コード、部課コードのコード値には指定されたダミーコードが出力されます。）</p> <p>【回線単位内訳の出力有無】 回線単位の内訳レコードは必ず出力されます。（出力有無の指定はできません。）</p>

2. レポート(CSV形式)仕様

項番	項 目	内 容			
1	作 成 単 位	提供サービスに限定はありません。			
2	フォーマット形式	3.5インチFD		CD-R	MO
		2 H D			
		1.25M B	1.44MB	650MB	128MB
3	標準最大出力件数 (圧縮希望時)			—	—
4	使 用 コ ー ド	JIS 漢字コード:シフトJIS			
5	レ コ ー ド 長	可変長(復帰改行コードが追加されます)			
6	フ ァ イ ル 形 式	テキスト形式・項目名付CSV (1枚に収容しきれない場合は、同一ファイル名で複数枚作成します)			

注：項目名付CSV形式とは、レコードの先頭に項目名のみの項目名レコードを編集し、その後ろにデータレコードを編集する形式です。レコードの編集形式は以下のとおりとなっています。

- (1) 項目と項目の間をカンマ(,)で区切ります。
- (2) 1レコードの最終項目編集後、復帰改行(CRLF)を付加します。
- (3) 数値項目(件数・金額等)以外の場合は、そのデータをダブルクォート(" ")で囲みます。
(例:" ABCD")
- (4) 数値項目(件数・金額)以外の場合で、データが省略されている場合は半角のスペースを編集し、ダブルクォートで囲みます。(例:" ")
- (5) 数値項目の場合は、有効数字のみ編集します。
※有効数字の編集に伴い、仕様書上の桁数と異なる場合があります。
- (6) 数値項目の場合で、データが省略されている場合は、半角のゼロのみ編集します。
(例:.....0,...)
- (7) 標準最大出力件数は、記憶媒体への収容方法により変動します。

<圧縮について>

お客様提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮書庫管理プログラム LHA」を使用し、自己解凍形式(プログラム形式)で圧縮しています。

- 圧縮したデータの解凍手順…① パソコンのハードディスクにコピーする。
② ファイルを実行する。
以上で圧縮したデータが自動的に解凍されます。

3. レポートのファイル構成

(1) 作成するファイル

レポート	ファイル名称	ファイル名
ビリングレポート	管理ファイル	B00000011. CSV
	共通ファイル	B00000021. CSV
	内訳ファイル	B00000031. CSV
	終了ファイル	B00000091. CSV
大代表構成内訳書	管理ファイル	X00000011. CSV
	共通ファイル	X00000021. CSV
	内訳ファイル	X00000031. CSV
	終了ファイル	X00000091. CSV

注1:記録媒体2枚以上にまたがるファイルは、内訳ファイルのみです。

注2:作成するファイル名の構成

B 000000 × × . CSV
 *1 *2 *3 *4

1「B」:ビリングレポートを表示

「X」:大代表構成内訳書を表示

2 弊社が付与するお客さま識別コード(数字5桁)

3 × × :データ種類(圧縮の場合は、記憶媒体作成連番01～99)

4 CSV:ファイル拡張子。(圧縮した場合は「exe」)

- ・圧縮の場合は、× ×に記憶媒体作成通番01～99、ファイル拡張子「exe」のファイルを作成しますが、自動解凍後に上記のとおりファイルになります。
- ・圧縮ファイルが複数枚となった場合に同じフォルダ内で解凍すると、電話番号別内訳ファイルは、1枚目からN枚目全て同じファイル名で解凍されますので、後から解凍したファイルで上書きされます。複数枚になった場合は、フォルダを変えて解凍して下さい。

(2) 収容方法

①1枚目

管理ファイル、共通ファイル、終了ファイルを収容してから、内訳ファイルを収容件数が、最大出力件数(記録媒体のフォーマット形式毎に定めた、収容可能な最大件数)になるまで収容します。

②2枚目以降

1枚目に収容しきれなかった場合、残りの内訳ファイルを2枚目以降の記憶媒体に順次収容します。最大99枚まで収容可能です。

※項目名レコードについては、作成しません。

(3)ファイル関連図

●管理ファイル

--

●共通ファイル

--

●内訳ファイル

①組織・部課別指定で回線番号指定なしの場合

内訳レコード 組織単位	～	内訳レコード 組織単位
----------------	---	----------------

組織毎の構成

②組織・部課別指定で回線番号指定なしの場合

内訳レコード 組織単位	内訳レコード 部課別単位	～	内訳レコード 部課別単位	内訳レコード 組織単位	内訳レコード 部課別単位	～	内訳レコード 部課別単位	内訳レコード 組織単位	内訳レコード 部課別単位	～	内訳レコード 部課別単位
----------------	-----------------	---	-----------------	----------------	-----------------	---	-----------------	----------------	-----------------	---	-----------------

1組織単位の構成

③組織、部課別指定で回線番号指定ありの場合

内訳レコード 組織単位	内訳レコード 部課別単位	内訳レコード 回線単位	～	内訳レコード 回線単位	内訳レコード 部課別単位	内訳レコード 回線単位	～	内訳レコード 回線単位	～	内訳レコード 部課別単位	内訳レコード 回線単位	～	内訳レコード 回線単位
----------------	-----------------	----------------	---	----------------	-----------------	----------------	---	----------------	---	-----------------	----------------	---	----------------

1部課単位の構成

●終了ファイル

--

4. レコード形式

各ファイルのレコード形式

(1) 管理レコード

予備	ご契約番号	ユーザレポート番号	レコード識別 [11]	組織コード	部課別コード	サービスセンタコード	媒体識別	ファイル作成日付	料金月	料金群	請求回数	詳細群
13	10	10	2	3	6	8	3	6	4	1	1	1

(2) 共通レコード

予備	ご契約番号	ユーザレポート番号	レコード識別 [21]	組織コード	部課別コード	基本料 利用期間		通話料 利用期間		請求金額合計	請求件数	年月群
						開始	締切	開始	締切			
13	10	10	2	3	6	4	4	4	4	12	8	7

(3)内訳レコード・組織単位

予備	ご契約番号	ユーザレポート番号	レコード識別 [31]	内訳種別※	集約サービス名	非電話サービス種類	ユーザレポート番号	組織コード	部課別コード	専用線ID番号	会社識別	予備	レコード通番	請求内訳1～11			
														利用会社	網種別	内訳コード1	予備
13	10	10	2	8	40	14	10	3	6	12	30	10	6	30	8	3	1

請求内訳1～11						回線数	減算不能区分	年月群
内訳コード2	請求内訳名	再掲表示	割引前金額	割引後金額	税区分			
4	36	6	10	10	30	8	8	7

※内訳種別：組織単位の場合は、“組織別”と設定します。

(4)内訳レコード・部課別単位

予備	ご契約番号	ユーザレポート番号	レコード識別 [31]	内訳種別※	集約サービス名	非電話サービス種類	ユーザレポート番号	組織コード	部課別コード	専用線ID番号	会社識別	予備	レコード通番	請求内訳1～11					
														利用会社	網種別	内訳コード1	予備	内訳コード2	請求内訳名
13	10	10	2	8	40	14	10	3	6	12	30	10	6	30	8	3	1	4	36

請求内訳1～11				回線数	減算不能区分	年月群
再掲表示	割引前金額	割引後金額	税区分			
6	10	10	30	8	8	7

※内訳種別：部課単位の場合は、“部課別”と設定します。

(5)内訳レコード・回線単位

予備	ご契約番号	ユーザレポート番号	レコード識別 [31]	内訳種別※	集約サービス名	非電話サービス種類	ユーザレポート番号	組織コード	部課別コード	専用線ID番号	会社識別	回線番号	レコード通番	請求内訳1～11					
														利用会社	網種別	内訳コード1	予備	内訳コード2	請求内訳名
13	10	10	2	8	40	14	10	3	6	12	30	10	6	30	8	3	1	4	36

請求内訳1～11				予備	減算不能区分	年月群
再掲表示	割引前金額	割引後金額	税区分			
6	10	10	30	8	8	7

内訳種別：回線番号単位の場合は、“回線別”と設定します。

(6)終了レコード

レコード識別	FD枚数	総出力レコード数	年月群
[91]			
2	2	9	7

5. レコード内容

(1) 管理レコード

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	予 備	文字	13	スペースまたは英数字
2	ご 契 約 番 号	文字	10	オール「0」
3	ユーザレポート番号	文字	10	弊社がお客さまへ送付するレポート単位に設定した番号 例: 0123456789
4	レ コ ー ド 識 別	文字	2	“11”固定
5	組 織 コ ー ド	文字	3	半角スペース
6	部 課 別 コ ー ド	文字	6	半角スペース
7	サービスセンタコード	文字	8	NTTサービスサポートセンタコードを設定。
8	媒 体 識 別	文字	3	媒体識別を設定…「FD」、「MO」「CDR」 「BS(注 1)」
9	ファイル作成日付	文字	6	YYMMDD(西暦) 例: 2019年4月3日→「190403」
10	料 金 月	文字	4	YYMM(西暦) 例: 2019年4月→「1904」
11	料 金 群	文字	1	料金群を「1」～「6」で設定
12	請 求 回 数	文字	1	同一請求番号で、同一月内に請求書発行した回数 (料金群変更時等) 再発行は対象外
13	詳 細 群	文字	1	詳細群を「A」～「V」、「1」～「9」で設定。 詳細はコード表「項番5、料金群・詳細群」参照

(注1) ビリングステーション(電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービス)を契約の場合。

(2) 共通レコード

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	予 備	文字	13	スペースまたは英数字
2	ご 契 約 番 号	文字	10	オール「0」
3	ユーザレポート番号	文字	10	弊社がお客さまへ送付するレポート単位に設定した番号 例: 0123456789
4	レ コ ー ド 識 別	文字	2	“21”固定
5	組 織 コ ー ド	文字	3	半角スペース
6	部 課 別 コ ー ド	文字	6	半角スペース
7	基本料利用期間開始	文字	4	基本料利用期間初開始(初日)を設定。 例: 10月1日→“1001”
8	基本料利用期間締切	文字	4	基本料利用期間締切(末日)を設定。 例: 10月31日→“1031”
9	通話料利用期間開始	文字	4	通話料利用期間開始(初日)を設定。 例: 10月1日→“1001”
10	通話料利用期間締切	文字	4	通話料利用期間締切(末日)を設定。 例: 10月31日→“1031”
11	請 求 金 額 合 計	数字	12	作成単位の請求額計を設定。
12	請 求 件 数	数字	8	オール「0」
13	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6を設定。 例: 2001年11月C群→“2001113”

(3)内訳レコード・組織単位

項番	項 目 名		区別	桁数	内 容	
1	予	備	文字	13	スペースまたは英数字	
2	ご	契 約 番 号	文字	10	オール「0」	
3	ユーザ	レポート番号	文字	10	弊社がお客さまへ送付するレポート単位に設定した番号 例:0123456789	
4	レ	コ ー ド 識 別	文字	2	“31”固定	
5	内	訳 種 別	文字	8	作成区分“組織単位”を設定。	
6	集	約 サ ー ビ ス 名	文字	40	半角スペース	
7	非	電話サービス種類	文字	14	半角スペース	
8	ユーザ	レポート番号	文字	10	弊社がお客さまへ送付するレポート単位に設定した番号 例:0123456789	
9	組	織 コ ー ド	文字	3	お客様が指定した組織 ID を設定	
10	部	課 別 コ ー ド	文字	6	半角スペース	
11	専	用 線 I D 番 号	文字	12	オール「0」	
12	会	社 識 別	文字	30	半角スペース	
13	予	備	文字	10	スペースまたは英数字	
14	レ	コ ー ド 通 番	数字	6	先頭内訳レコードを1とした連番を設定	
15	請求内訳1～11	利	用 会 社	文字	30	ご利用の会社名を設定。
		網	種 別	文字	8	“電話”“パケット”“専用線”“国際”“OCN”“テガルス”“その他網”“法人”“消費税”を設定。
		内	訳 コ ー ド 1	文字	3	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
		予	備	文字	1	スペースまたは英数字
		内	訳 コ ー ド 2	文字	4	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
		請	求 内 訳 名	文字	36	請求内訳名を設定。
		再	掲 表 示	文字	6	オール「0」を設定
		割	引 前 金 額	数字	10	「0」を設定
		割	引 後 金 額	数字	10	請求金額を設定。
	税	区 分	文字	30	消費税区分を設定。 “内税”“合算”“非対象等”“個別”“個別消費税” “合算消費税”(注1)	
16	回	線 数	数字	8	組織配下の回線数を記録	
17	減	算 不 能 区 分	文字	8	「通常」を設定	
18	年	月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6を設定。 例:2001年11月C群→“2001113”	

(注1) 税区分:請求金額そのものが個別消費税、合算消費税の場合に“個別消費税”“合算消費税”と設定します。

(注2) 内訳レコード・組織単位の取りまとめ単位の考え方はページ 1 を参照。

(4)内訳レコード・回線単位

項番	項 目 名		区別	桁数	内 容
1	予 備		文字	13	スペースまたは英数字
2	ご 契 約 番 号		文字	10	オール「0」
3	ユーザレポート番号		文字	10	弊社がお客さまへ送付するレポート単位に設定した番号 例:0123456789
4	レ コ ー ド 識 別		文字	2	“31”固定
5	内 訳 種 別		文字	8	作成区分“回線別”を設定。
6	集 約 サ ー ビ ス 名		文字	40	半角スペース
7	非電話サービス種類		文字	14	半角スペース
8	ユーザレポート番号		文字	10	弊社がお客さまへ送付するレポート単位に設定した番号 例:0123456789
9	組 織 コ ー ド		文字	3	お客様が指定した組織 ID を設定
10	部 課 別 コ ー ド		文字	6	お客様が指定した部課別 ID を設定
11	専 用 線 I D		文字	12	専用線のデータの時設定、以外はゼロ設定オール「0」
12	会 社 識 別		文字	30	半角スペース
13	予 備		文字	10	スペースまたは英数字
14	レ コ ー ド 通 番		数字	6	先頭内訳レコードを1とした連番を設定
15	請求内訳1511	利 用 会 社	文字	30	ご利用の会社名を設定。
		網 種 別	文字	8	“電話”“パケット”“専用線”“国際”“OCN”“テガルス”“その他網”“法人”“消費税”を設定。
		内 訳 コ ー ド 1	文字	3	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
		予 備	文字	1	スペースまたは英数字
		内 訳 コ ー ド 2	文字	4	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
		請 求 内 訳 名	文字	36	請求内訳名を設定。
		再 掲 表 示	文字	6	オール「0」を設定
		割 引 前 金 額	数字	10	「0」を設定
		割 引 後 金 額	数字	10	請求金額を設定。
	税 区 分	文字	30	消費税区分を設定。 “内税”“合算”“非対象等”“個別”“個別消費税” “合算消費税”(注1)	
16	回 線 数		数字	8	部課別配下の回線数を記録
17	減 算 不 能 区 分		文字	8	「通常」を設定
18	年 月 群		文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6を設定。 例:2001年11月C群→“2001113”

(注1)税区分:請求金額そのものが個別消費税、合算消費税の場合に“個別消費税”“合算消費”と設定します。

(注 2)内訳レコード・回線単位の取りまとめ単位の考え方はページ 1 を参照。

(5)内訳レコード・回線単位

項番	項 目 名		区別	桁数	内 容
1	予	備	文字	13	スペースまたは英数字
2	ご 契 約 番 号		文字	10	オール「0」
3	ユーザレポート番号		文字	10	弊社がお客さまへ送付するレポート単位に設定した番号 例:0123456789
4	レ コ ー ド 識 別		文字	2	“31”固定
5	内 訳 種 別		文字	8	作成区分“回線別”を設定。
6	集 約 サ ー ビ ス 名		文字	40	半角スペース
7	非電話サービス種類		文字	14	・非電話サービス種類を設定。コード表「項番6、非電話サービス種類」参照 ・非バンドル時:半角スペース
8	ユーザレポート番号		文字	10	弊社がお客さまへ送付するレポート単位に設定した番号 例:0123456789
9	組 織 コ ー ド		文字	3	お客様が指定した組織 ID を設定
10	部 課 別 コ ー ド		文字	6	お客様が指定した部課別 ID を設定
11	専 用 線 I D 番 号		文字	12	専用線の時、企業等コード等を設定。その他はオール「0」
12	会 社 識 別		文字	30	専用線の時“NTTコミュニケーションズ”を設定、その他は半角スペース
13	回 線 番 号		文字	10	電話の場合、例:03-3544-1234 → “0335441234” 専用線の場合、例:234-567891 → “0234567891” 11桁電話番号の場合、例:090-1234-5678 → “9012345678”
14	レ コ ー ド 通 番		数字	6	先頭内訳レコードを1とした連番を設定
15	請求内訳1～11	利 用 会 社	文字	30	ご利用の会社名を設定。
		網 種 別	文字	8	“電話”“パケット”“専用線”“国際”“OCN”“テガルス” “その他網”“法人”“消費税”を設定。
		内 訳 コ ー ド 1	文字	3	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
		予 備	文字	1	スペースまたは英数字
		内 訳 コ ー ド 2	文字	4	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
		請 求 内 訳 名	文字	36	請求内訳名を設定。
		再 掲 表 示	文字	6	オール「0」を設定
		割 引 前 金 額	数字	10	「0」を設定
		割 引 後 金 額	数字	10	請求金額を設定。
15	請求内訳1～11	税 区 分	文字	30	消費税区分を設定。 “内税”“合算”“非対象等”“個別”“個別消費税” “合算消費税”(注1)
16	回 線 数		数字	8	「0」を設定
17	減 算 不 能 区 分		文字	8	・回線単位の請求額が1円以上の場合:「通常」を設定 ・回線単位の請求額が0円またはマイナスとなる場合: 「減算不能」を設定
18	年 月 群		文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6を設定。 例:2001年11月C群→“2001113”

(注1) 税区分:請求金額そのものが個別消費税、合算消費税の場合に“個別消費税”“合算消費”と設定します。

(注2) 内訳レコード・回線単位の取りまとめ単位の考え方はページ1を参照

(6) 終了レコード

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	2	“91”固定
2	F D 枚 数	文字	2	FD枚数“01”～“99”
3	総 出 力 レ コ ー ド 数	数字	9	開始終了レコード除く
4	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6を設定。 例:2001年11月C群→“2001113”